

岩手県大船渡市立博物館

大船渡市立博物館 白 土 豊

1 碁石海岸

南三陸の景勝地、碁石海岸。岩手県南東端で太平洋に小さく突き出た大船渡市末崎町内にあります。北からは国道45号を大船渡町丸森交差点で海岸側に左折し、県道を進むこと約10分。南からは手前の陸前高田市で県道に入り、広田半島を右手に見ながら来ると近道です。

その昔、伊達の殿様に「碁石」を献上したともいわれるように、黒く平べったい小石が浜で見られることが名前の由来のようです。さて、この「碁石」はどのようにしてできたのでしょうか。磯を見渡してみましよう。な

んだか全体的に黒っぽいことに気付きます。露頭に近寄ってみると、砂岩や礫岩とともに、真っ黒な頁岩が見つかります。本のページのようにペラペラと薄く剥がれやすい性質を持ち、粒度区分では泥岩に相当する岩です。

これらの岩を含む地層は、東北大学名誉教授であられた故小貫義男先生と、現在東北大学総合学術博物館長であられる森啓先生によって昭和36年に大船渡層群船河原層と名付けられました。中生代の白亜紀層です。「碁石」は、約1億年にわたる「波の造形・海からの贈り物」と言うことができるでしょう。

来館されるお客さまより、「碁石海岸はど



碁 石 浜



館 外 観

こですか？」とたびたびお尋ねがあります。その際には「このあたり一帯を碁石海岸と呼んでいます。碁石のように見える小石は、碁石浜にあります。」とお答えしています。碁石海岸を1ヶ所の浜とっていらっしゃる方が多いようですが、数キロに渡ってみどころがあります。

碁石浜の他にも、碁石岬（空気の状態によっては金華山まで見える）、雷岩（日本の音100選。波が打ち付けてウーハーのように重低音が響く）、乱曝谷（高さ約20～30mの断崖絶壁）、穴通機（日本の渚100選。昭和44年陸中海岸国立講演記念切手の図案）など、それから「世界の椿館・碁石」や当館があります。

2 大船渡市立博物館

常設展示の総合テーマは「大船渡 その海

と大地」。まず最初に大型スクリーンに写し出す常設展示の概要案内映像をご覧くださいませ。

その後、地質展示室へ。高さ6mに及ぶ地層のレプリカをシンボルに、約600点の化石資料を産出地層ごとに展示しています。続く考古・民俗展示室では、貝塚貝層断面・磯船の実物をシンボルに、遺跡からの出土品、各種の漁労用具を比較しながら紹介しています。

最も奥には、「たいけんコーナー」があります。子どもたちが館内で楽しく過ごせるように専用の紙と水性の色鉛筆を使って気に入った展示品を絵に書くことができます。絵は1ヶ月程このコーナーに展示し、住所と名前が添えられていれば、記念にお送りしています。親子が1時間以上もかけて、このお絵書きを楽しむ姿もみられるようになりました。

この他にも、自由に触ることができる専用

